

近接性評価割引制度について

平成27年11月
中国電力株式会社

1. 基幹系電源の割引対象地域・割引単価の対応案

1

- 事務局からご提案いただいた各案の割引総額（3カ年平均）および託送料金への影響は次のとおりです。

	電源	割引対象電力量 (百万kWh)	税抜割引単価 (円/kWh)	割引総額 (百万円)	託送料金影響 (円/kWh)
案A(申請中の案) 対象地域：申請中の対象地域 割引単価：申請中の割引単価	高・低圧電源	788.2	0.48	378.3	－
	特別高圧電源	4,539.0	0.44	1,997.2	
	基幹系電源	596.2	0.22	131.2	
	計	5,923.4	－	2,506.7	0.04
案B(現状維持) 対象地域：適用中の対象地域 割引単価：適用中の割引単価	高・低圧電源	788.2	0.48	378.3	－
	特別高圧電源	4,539.0	0.44	1,997.2	
	基幹系電源	5,302.4	0.08	424.2	
	計	10,629.6	－	2,799.7	0.05
案C 対象地域：適用中の対象地域 割引単価：申請中の割引単価	高・低圧電源	788.2	0.48	378.3	－
	特別高圧電源	4,539.0	0.44	1,997.2	
	基幹系電源	5,302.4	0.22	1,166.5	
	計	10,629.6	－	3,542.0	0.06
案D 案Aに加えて、現行制度の割引 を受け、潮流改善に引き続き資 する基幹系電源に、申請中の割 引単価を適用	高・低圧電源	788.2	0.48	378.3	－
	特別高圧電源	4,539.0	0.44	1,997.2	
	基幹系電源	596.2	0.22	131.2	
	計	5,923.4	－	2,506.7	0.04

※現在制度で割引対象としている供給区域外の発電分は、新制度で市町村単位の需給バランスに基づき割引対象地域を判断していることとの平仄を踏まえ、割引対象外と整理。

2. 対応案に対する当社見解

- 近接性評価割引制度については、今回の申請にあたり、電源の立地にもなう潮流改善効果をよりきめ細かく評価する観点から、割引対象地域や割引単価の見直しを行っており、当社としては、現在申請中の割引対象地域・割引単価を適用する案 A が妥当と考えています。
- なお、案 B から案 D については、潮流改善効果をよりきめ細かな地域単位で評価する趣旨の反映等を踏まえると、採用には課題があるものと考えています。